

令和4年度 佐倉市立青菅小学校 学校経営の概要（構想図）

【学校教育目標】

かしこい子の育成

佐倉市教育プラン
次世代へ光り輝く
「教育立県ちば」プラン
教育基本法
日本国憲法

○児童の実態
○学校・地域の実態
○保護者の願い
○地域の願い
○教職員の願い

【めざす学校像】

- 1 明るく礼節のある学校
- 2 一人一人の子どもが大切にされる楽しい学校
- 3 安全・安心な生活が配慮され、整った学校
- 4 保護者や地域に信頼される学校
- 5 学校職員が働きやすい環境を工夫改善する学校

【めざす教師像】

- 1 子どもの将来を見据え、一人一人のよさを伸ばそうとする教師
- 2 子どもの学力向上のために、ねばり強く指導を重ねる教師
- 3 子どもの人格を大切にし、丁寧な言葉で支援する教師
- 4 子どもの目線にたち、子どもとともに活動する教師
- 5 仲良く助け合う学級集団作りをめざす教師
- 6 研究心を持ち自らを高めようとする教師
- 7 常に協力し合い、切磋琢磨する教師

【めざす児童像】

あ

お

やさしい子

「豊かな心の育成」

- 道徳教育の充実
 - ・共感的な理解を促す授業及び考え、議論する授業を実践する。
 - ・学校生活全体を通して、児童の道徳心の向上を図る
- 人権教育の充実
 - ・異学年・異世代交流や振り返りの時間を設定することにより、自分や相手の良さに気づかせる。
 - ・一人一人が自己有用感を高めることができる、温かい人間関係を醸成する。
- 生徒指導体制の充実
 - ・教育相談、相談箱、生活アンケートの活用により、トラブルの早期発見に努める。
 - ・全職員による全児童理解により、組織的に対応する生徒指導体制を構築する。
 - ・暴力行為やいじめ等に一貫した指導を行い、規範意識の向上を図る。

す

勉強する子

「自立した学習者の育成」

- 基礎基本の定着
 - ・学習規律により、学習への取り組み方を定着させ、児童と教師との信頼関係を構築する。
 - ・チャレンジタイムの活用により基礎基本の確実な習得を図る。
 - ・読書活動を推進し、進んで読書に親しむ態度を育成する。
- 主体的・対話的で深い学びへの授業改善
 - ・わかる授業のため、授業のユニバーサルデザイン化を図る
 - ・主体的・対話的で深い学びを実現する。（学習の見通しを持たせ、伝え合う場面の設定や工夫をし、生活や他教科との関わりを意識した知のつながり）
 - ・タブレット等ICT機器活用により指導方法を工夫改善する。
- 食に関する指導
 - ・学校給食を活用した効果的な食に関する指導に努める。

げ

元気な子

「心身の健康・安全、粘り強さの育成」

- 保健指導
 - ・感染症等の予防に関する正しい知的理解をもとにした実践をする。
 - ・保健管理、健康相談を重視し、望ましい生活習慣を形成する力を育成する。
- 安全指導
 - ・交通安全指導等を通して、安全な行動がとれる力を育成する。
 - ・防災訓練等により、自分の命は自分で守る防災意識を定着させる。
 - ・全職員が食物アレルギーに冷静に対応できるようにする。
- 体力向上
 - ・体力の高め方を知り、運動会、持久走、縄跳びなどに最後まで取り組む児童を育成する。
 - ・運動の楽しさに触れる教科体育の充実を図る。
- 歌声の響く学校
 - ・朝の歌やふれあいコンサートを通して音楽活動の楽しさを体験する。

保護者や地域に信頼される学校

「積極的な情報発信により、教育活動の意図や成果を家庭・地域と共有する」

- 学校だより、学年だより、保健だより、給食だより、ホームページ、授業参観などで情報発信
 - ・特別支援教育体制、行事・学習活動・研究等の成果発信、学校評価と学校改善公表、各種情報提供
- 家庭、地域との協働
 - ・家庭学習の工夫、挨拶運動の推進、PTA活動・家庭教育学級・おやじの会への協力、読み聞かせボランティア依頼 防犯ボランティア依頼、ゆめ・仕事びったり体験協力依頼、学校評議員会議の実効化
- 不祥事根絶（青菅小から不祥事を絶対出さない）
 - ・定期的なモラールアップ委員会の開催、日常的な不祥事防止ミニ研修の実施、業務の効率化